

治療スケジュール

F-3

*レジメン名	BV(5mg/kg)+mFOLFOX6療法(14日間)(大腸)								
*投与量・投与日	レボホリナート200mg/m <sup>2</sup> d1、オキサリプラチン85mg/m <sup>2</sup> d1、5Fu400mg/m <sup>2</sup> d1、5Fu2400mg/m <sup>2</sup> d1、ペバシズマブ5mg/kg d1								
*手技	癌	*薬品名・*用法・コメント・*休薬完了	*数量	*単位	点滴時間・点滴速度	d(1)	d(14)	d( )	d( )
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生食注シリンジ 1日1回 開始時 CVポートフラッシュ	10	mL		○			
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生理食塩液 デキサート注射液 グラニセトロン静注液 1mg 1日1回 メイン①	50 9.9 1	mL mg A	15分	○ ○ ○			
抗悪性腫瘍剤局所持続注入	☆	生理食塩液 ペバシズマブBS点滴静注 1日1回 インフュージョンリアクション認めなければ次回より60分に短縮可 それ以降、30分投与とすることができる メイン② 無菌製剤処理料1	100 5	mL mg/kg	90分	○ ○			
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生理食塩液 ボラミン注 1日1回 メイン③	50 1	mL A	15分	○ ○			
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		5%ブドウ糖注 レボホリナート点滴注 1日1回 側管④	250 200	mL mg/m <sup>2</sup>	2時間	○ ○			
抗悪性腫瘍剤局所持続注入	☆	5%ブドウ糖注 オキサリプラチン点滴静注液 1日1回 メイン④ 側管④と併流 無菌製剤処理料1	250 85	mL mg/m <sup>2</sup>	2時間	○ ○			
抗悪性腫瘍剤局所持続注入	☆	生理食塩液 フルオロウラシル注 1日1回 メイン⑤ 無菌製剤処理料1	50 400	mL mg/m <sup>2</sup>	5分	○ ○			
抗悪性腫瘍剤局所持続注入	☆	生理食塩液 フルオロウラシル注 1日1回 全量140mLに。(トレフューザー typeT) メイン⑥ 無菌製剤処理料1 携帯型ディスポーザブル注入ポンプ(化学療法用) 休薬完了	100 2400	mL mg/m <sup>2</sup>	46時間 3.7mL/h	○ ○			●
		以下別オーダー							
内服		デカドロン錠(0.5mg) 1日2回 朝食後	16	錠	d2・3				